

特集 :おらほの農地集積】

「一地区一集団」による

～ 誰でもたずさわれる農業とその後継者の育成 ～

わたまる

渡丸地区



1. 地区の概要

事業名：経営体育成基盤整備事業

関係市町村：栗原市（旧栗駒町）

関係土地改良区：二迫川沿岸土地改良区

工期：平成12年度～平成20年度

受益面積：34.1ha

総事業費：521百万円

農家戸数：57戸

担い手農家：0人

生産組織：1組織

担い手経営面積

（実施前）：11.8ha

（実績）：22.9ha（平成17年度現在）

（計画）：20.2ha

利用集積率：67.2%（目標59.2%）

2. 地区の現状

渡丸地区は栗原市栗駒の南東部に位置し、水稻が基幹作物の水田地帯であり一部では畜産（乳用牛）や野菜等を取り入れた複合経営が行われている。地区の平均耕作面積は0.6ha程で少なく、高齢化や後継者不足から農作業委託等が進んでいる。

そうした中、ほ場整備を契機に生産組織が設立され、転作にも積極的に取り組むとともに、野菜・飼料作物を中心とした営農体系の確立と、生産性の向上が図られ、地域農業の核に位置付けられている。

3. 地区の特徴

生産規模の拡大と要因

事業採択以前は、個別完結型の経営で個々に転作から稲作までの作業を行っていたが、本事業を契機に、57戸の関係農家の中から6戸の担い手で生産組織「アグリ渡丸」を平成15年1月に設立し、同時に転作と水稻の作業受委託に取り組み、農業機械の効率的稼働や、組織への規模拡大をはかった。結果、H17年度迄に22.9haの農地が集積され、目標の59.2%を8ポイントも上回る67.2%の集積率が達成されました。



無人ヘリによる防除の様子

この要因としては、担い手部会が中心となり、地域農業の持続的な維持・発展に向けた話し合いを重ね、「誰でもたずさわれる農業とその後継者の育成を図る」を目標に掲げ、個々の農家が理解し一時利用指定時点から受委託を促進した事が最大の要因である。更には、今後の農業経営を考え、集落営農の推進や農業機械等への過剰投資の抑制に取り組んでいる事も上げられる。



渡丸地区全景



牧草の刈り取り作業

高生産性新技術の導入の普及が図られる

面工事は、平成15年度から始まり平成16年度にゼロ国債を活用したことで、平成17年度で面工事を完了している。

工事の着手に当たっては、採択年度から3年間工事は行わず、綿密な換地計画の検討や、一時利用指定の段階から担い手へ農地集積、事前転作で牧草（イタリアンライグラスとシロクロバの混播栽培）の団地化の調整を行うとともに、以下に述べる色々な新しい技術的に取り組んでいる。

無人ヘリコプターによる防除の導入

今までのホース持ち歩き方式と背負式動力散布機から脱皮し、省力化を図る為、平成17年度から導入した。防除ヘリは、設備投資を抑える為にJA栗駒へ依頼し、地元の若い担い手6名がJA等の支援を受け設立した「エアーマイスター」が所有するヘリを活用している。ただし、防除時期に依頼する方法を採っている為、他の地区との関係もあり自前のヘリと違いタイムリーに依頼しないと効果が薄くなる点が煩わしさとして残っている。

低コスト化農法の取り組み

現時点では単独組織としての試行であるが、苗の使用を少なくしながらも収量を上げる方法として、今まで使用してきた5条植えの田植機で中間の1条分を抜き、4条植え移植の取り組みを行った。

結果、苗代金は20%もの節減が図れた。植栽密度と収量の関係では移植当初は畝間が目立っていたが、稲の生育とともに徐々に埋まり、普通植と見栄えが何ら変わりなく、普通水田と変わらない収量を揚げる事が出来た。なお、技術的にも問題は無く、手順がスムーズであり今後定着出来る方法と考えられる。また、この方法は、刈り取り時期の降雨にも、空けた畝を利用して水捌けが容易に可能となり、乾田化を促進出来ることである。

有機農法の取り組み

事業採択以前から取り組んで来た堆肥導入の取り組みであるが、これまでは小規模に行っていたが、本事業によって大規模な取り組みのきっかけに繋がっている。特に、地元で作った質の良い堆肥を使ったことで、評価の良い高付加価値米として産地間競争の中でも更に地位を高めることができています。

4. 今後の活動

地区内における平成19年度の転作は、飼料作物を中心に考えており、水稻も例年通り作付けする土地利用計画が、今年度と同様に了承されている。今後、産地づくり交付金等「とも補償」の配分の考え方を栗原市の方針に合わせ決定し、関係者の了承を得て取り組んで行く。

経営所得安定対策の品目横断的経営安定対策への加入については、「アグリ渡丸」が「特定農業団体」のオペレーター型での組織化を目指しており、目標年度までの適用に間に合うように調整中である。



問い合わせ先

水土里ネット二迫（二迫川沿岸土地改良区）

〒989-5301 宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎上町裏3-3

TEL：0228-45-5599 FAX：0228-45-5516